



整形外科における女性医師の現状



- 整形外科の特徴
- 旭川医科大学整形外科医師の現状

整形外科の（予想される）イメージ

- ・「力」がないと骨折や脱臼の整復ができない!
- ・「力」がないと手術できない!
- ・様々な治療を「力」まかせにやっている
- ・あまり考えていない
- ・救急患者が多く、時間外呼び出しが多い
- ・女性を必要としていない!?

「整形外科」について

- 一口に「整形外科」と言っても様々な分野



脊椎脊髄外科

手の外科

骨軟部腫瘍外科

スポーツ医

小児整形外科

産業医

関節外科

足の外科

関節リウマチ外科

骨代謝・骨粗鬆症医

マイクロサージャリー

運動器リハビリテーション

「整形外科」について

- 「力」の使い方

→ 決して「力まかせ」ではなく、
「コツ」を掴んで、「効率よく」力を発揮

「力」が足りなくて困った経験は？

「整形外科医の働き方 ー女性医師の視点からー」

日本整形外科学会誌 2008

- **女性医師の定着阻害因子** (東大と慶応の整形外科でのアンケート)

力がない・被爆する等は大きな要因ではない

「整形外科」について

- 救急患者が多く、時間外呼び出しが多い

確かに救急外来受診者は少なくない・・・
育児支援に関しては、
チームとしての対応が必要

「整形外科医の働き方 ー女性医師の視点からー」

日本整形外科学会誌 2008

・ 女性医師の定着阻害因子 (東大と慶応の整形外科でのアンケート)

労働環境； 長時間労働、当直前後の連続勤務



休日・夜間勤務

託児所・病児保育施設の整備も必要だが、

もっとも必要なのは周囲の理解と意識改革

「整形外科医の働き方 ー女性医師の視点からー」

日本整形外科学会誌 2008

- ・ 整形外科医となった年代により分類

2000 年以前；

男性と同じように働き家庭を持たない
超人的に働き、家庭と仕事を両立する

2000 年以降；

若いうちから家庭を持ち、子育てもする

「整形外科」について

- 学術集会にて託児所の併設

日本整形外科学会学術集会
日本手の外科学会

研修体制

- 卒後臨床研修1年目：
- 卒後臨床研修2年目：11ヶ月間の整形外科研修が可能に！
- 3年目（後期研修）：大学にて各班のローテーション
- 4年目：研修基幹病院にて整形外科の基本（外傷等）習得
- 5年目：（大学にて各班のローテーション）
- 6,7年目：基幹病院での臨床研修、整形外科専門医
- 8年目以降：原則として大学における subspeciality
の獲得

関連病院

旭川赤十字病院

森山病院

進藤病院

旭川リハビリテーション病院

旭川肢体不自由児

総合療育センター

札幌愛育病院

恵み野病院

市立稚内病院

市立士別総合病院

遠軽厚生病院

北見赤十字病院

北見小林病院

帯広協立病院

公立芽室病院

深川市立病院

富良野協会病院



出張病院

市立旭川病院

森山病院

進藤病院

旭川リハビリテーション病院

大西病院

浜頓別国保病院

中頓別国保病院

歌登町立病院

枝幸町立病院

札幌愛育病院

恵み野病院

釧路みなみ病院

公立芽室病院



医局に所属する、メリット・デメリット

- 勤務病院は医局が決定！
 - 本人の適性、病院の特色、
- 関連病院をローテーションすることで・・・
 - 多くの指導医からの指導を受けられる
 - 多くの治療方針、治療成績を体験できる
- 研究、大学院、留学、等
 - 大学が情報面、人脈面等でも優位
- 卒後7年目で受験資格を有する整形外科専門医
 - 確立された研修体制

旭川医科大学整形外科における女性医師

現在7名所属(全医局員数は約60名)

- ・卒後30年目 療育センター 既婚 子供1人
- ・卒後22年目 国内留学中(リウマチセンター)未婚
- ・卒後19年目 育児休暇中 既婚 子供1人5歳
- ・卒後14年目 大学下肢班 未婚
- ・卒後7年目 関連病院にて研修中 既婚・今年出産
- ・卒後3年目 大学病院にて後期研修中 未婚
- ・卒後1年目 大学病院にて初期研修中 未婚

旭川医科大学整形外科における女性医師

- 現在までは、女性医師の割合が少ないこともあり、すべて個別に対応
 - 今後、一定のルールの作成の必要性
- 男性医師の「結婚・出産」に対する理解

「整形外科」について

- 整形外科は女性を必要としていない !?

そんな事はありません！

興味が有れば、やる気が有れば、大歓迎！

整形外科の基本姿勢

「一」 に 「健康」
「二」 に 「家族」
「三・四」 がなくて
「五」 に 「仕事」



ありがとうございました